

14. 担当教員

看護の智探究領域

〔探求内容〕 あらゆる健康状態、とりわけ急性期から回復期においても、患者・家族を生活者として捉え、その人の持てる力を引き出し、地域での暮らしにつなげるために、看護実践者がもつ臨床体験を科学的根拠や理論を活用して洞察し、暗黙知から形式知を生み出す「智・人・命」を探究する。

看護の智探究領域 特別研究内容	担当教員／メールアドレス	研究の内容
	教授(学長) 豊田 久美子 k_toyoda@kyotokango.ac.jp	看護実践現場に生じる複雑な現象の構造、関連要因を基礎看護学の観点から考究し、看護技術を構成する看護師の認識、患者・看護師関係、看護介入方法のエビデンスの検証と開発をテーマにした研究指導を行う。看護技術分野に関する研究課題の明確化とそのための研究方法を吟味し、調査研究や質的研究、実験研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	教授 平 英美 h_taira@kyotokango.ac.jp	看護師-患者コミュニケーションをテーマとした修士論文をまとめるための助言と指導を行う。まず、看護コミュニケーションに関する先行研究を系統的に収集・整理・検討するための指導を行う。次に、コミュニケーション研究テーマに設定した場合にはどのように研究計画を立案し、計画書を作成すればよいのかについての指導を行う。とくに、臨床現場をフィールドとした調査研究を実施する院生には、フィールドへの参与の仕方や面接法、機器の設置法、データ処理の方法、さらに研究倫理申請など研究の手順について助言する。論文執筆では、コミュニケーション研究の特徴であるデータをどのように生かせばよいかといった点などの指導を進める。
	教授 田口 豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp	周術期にある患者や集中治療を受ける患者に対するせん妄予防や睡眠・覚醒リズムの調整をテーマとし、ケアとキュアが融合する臨床実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、主に介入比較研究や質的研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	教授(特任) 紙屋 克子 k_kamiya@kyotokango.ac.jp	意識障害をはじめ、心身の障がいや有する看護の対象者を人格ある存在として認識し、看護実践者・教育者としての活動環境の中から、解決ならびに探求すべき研究課題を明確化するプロセスを経て、学際的視点から準実験的手法を用いて論文の作成ならびに成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	教授(特任) 中川 晶 a_nakagawa@kyotokango.ac.jp	慢性疾患患者に対するナラティブ・アプローチの実践をテーマとして、質的研究法による論文作成および成果の発表に至る一連の研究指導を行う。
	准教授 久留島 実姫 m_kurushima@kyotokango.ac.jp	看護学生の効果的な看護技術の修得や臨床看護師のキャリア発達を支援するための教育方法および看護基礎教育における看護技術の修得を促すためのデジタル教材を用いた学習支援に関連するテーマで、教育実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、量的および質的研究方法による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。

【出願前の教員相談について】

出願前に指導を希望する教員と E-mail 等で連絡を取り、研究計画が実行可能であるか事前にご相談ください。